

人類の出現と文明プリン ト

名前

問1 飛鳥時代から江戸幕府が成立する1603年までの日本の歩みを整理した時系列において、最も古い時期である7世紀初めのアジアおよび世界の動向を説明したものと、正しいものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

- アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。
- ルターが教会の免罪符販売を批判し、ヨーロッパで宗教改革が始まった。
- マゼランの船団が世界周航を成し遂げ、地球が丸いことが証明された。
- 秦の始皇帝が中国を統一し、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。

問2 日本の古代文化において、遠く離れたギリシャ文化の影響が指摘されることがあります。法隆寺の建築様式や金堂壁画に見られる、ギリシャ文化とオリエント文化が融合した文化の影響について、その伝播の経緯を説明したものと適切なものを選んでください。 (2022年 岐阜公立入試 類似)

- アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。
- 遣隋使や遣唐使が地中海沿岸まで直接渡航し、古代ギリシャの写実的な彫刻技法や絵画技法を直接日本に持ち帰った。
- 十字軍の遠征によってヨーロッパに伝わったオリエントの技術が、大航海時代の宣教師によって飛鳥時代の日本へ紹介された。
- 唐の時代に完成した水墨画の技法が、ギリシャの遠近法と偶然一致したことで、日本の寺院建築の装飾として採用された。

問3 7世紀のアラビア半島において、唯一の神アラーから啓示を受けたムハンマドによって創始された宗教は何か、名称を答えなさい。 (2026年 三重公立入試 類似)

- イスラム教
- キリスト教
- ヒンドゥー教
- 仏教

問4 1949年、群馬県において相沢忠洋が関東ローム層（火山灰の層）の中から打製石器を発見したことにより、それまでの日本列島の歴史認識が大きく覆されました。この発見によって、日本列島において初めて存在が証明された時代として正しいものはどれですか。 (2023年 京都公立入試 類似)

- 旧石器時代
- 縄文時代
- 弥生時代
- 古墳時代

問5 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良公立入試 類似)

- 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
- 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
- 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
- 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため

問6 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

- 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。
- メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。
- 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。
- 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。

問7 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

- 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
- 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が活発になり、工芸品が伝わった。
- 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
- 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

問8 日本列島の旧石器時代における人々の生活環境や道具について述べた説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山公立入試 類似)

- ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。
- 土器を使用して食物を煮るようになり、定住生活が始まった。
- 大陸から稲作の技術が伝わり、大規模な環濠集落が形成された。
- 表面を磨いて形を整えた磨製石器を使い、木を加工して家を建てた。

問9 18世紀半ばから19世紀末にかけてのロンドンでは、人口が約100万人から650万人近くへと垂直に近い角度で急増しました。これに伴い、テムズ川の水質悪化が深刻な社会問題となりましたが、この時期に汚染が急速に進んだ背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 島根公立入試 類似)

- 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。
- 産業革命による工場建設が進んだことで、工場から排出される化学物質を含んだ排水が主な汚染源となったため。
- 石炭の大量消費によって発生した硫酸化物が雨に溶け、強い酸性雨となって河川の生態系を破壊したため。
- 世界的な気温上昇によってテムズ川の水量が減少し、もともと川に含まれていた有害物質の濃度が相対的に高まったため。

問10 西アジアで成立したイスラム教と、同時期の日本や東アジアの状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。
- イスラム教が成立した時期、日本は卑弥呼が中国の魏に使いを送っており、邪馬台国が勢力を持っていた。
- イスラム教が誕生したのと同じ世紀に、日本では平氏による武家政権が誕生し、日宋貿易が盛んに行われていた。
- ムハンマドが宗教活動を始めた時代、日本では聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺を建てていた。

問11 紀元前16世紀ごろの中国で成立した殷（いん）の遺跡からは、亀の甲羅や動物の骨に文字が刻まれた資料が数多く出土しています。この資料に刻まれた、現在の漢字の起源とされる文字を何といいますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

- 楔形文字
- 甲骨文字
- ヒエログリフ
- 象形文字

問12 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 京都公立入試 類似)

- 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
- 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
- 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。	小野妹子が隋へ派遣された7世紀初め、西アジアではイスラム教が成立し、急速に勢力を拡大していました。ルターによる宗教改革やマゼランの世界周航は16世紀（日本では室町時代末期から安土桃山時代）の出来事です。また、秦の始皇帝による中国統一は紀元前3世紀の出来事であり、7世紀の日本の状況とは時期が大きく異なります。
問2	答え 1 アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。	ヘレニズム文化は、ギリシャ文化が東方へと広がる中で現地の文化と混ざり合い、ガンダーラ美術などの仏教美術に大きな影響を与えました。これが中国や朝鮮半島を経由し、仏教とともに日本へ伝わったため、法隆寺の金堂壁画や柱の膨らみ（エンタシス）などに、遠く離れたギリシャ文化との共通点が見られることになりました。これは当時の日本が国際的な文化交流のネットワークの終着点であったことを示しています。
問3	答え 1 イスラム教	ムハンマドは商業都市メッカで、唯一神アラーの啓示を受けたとしてこの宗教を始めました。聖典をコーランとし、信者の平等や一日に数回の礼拝など、生活全般にわたる厳しい教えを定めたことで、アラビア半島から急速に広まりました。
問4	答え 1 旧石器時代	それまでの日本では、土器を使用する縄文時代より前の時代には人々は住んでいないと考えられていました。しかし、群馬県の岩宿遺跡で相沢忠洋が打製石器を発見したことにより、土器を使用せず狩猟や採集を行っていた「旧石器時代」が日本にも存在したことが初めて学術的に証明されました。
問5	答え 1 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問6	答え 1 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問7	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問8	答え 1 ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、日本列島が大陸と陸続きになる時期がありました。当時の人々は打製石器を用い、食料となるナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていました。土器の使用や定住生活が始まるのは、気候が温暖になった後の縄文時代からです。
問9	答え 1 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。	産業革命期の大都市では、短期間に爆発的な人口増加が起こりました。当時の都市開発において、増え続ける住民が出す生活排水を処理する仕組みが十分に整っていなかったことが、テムズ川の深刻な水質汚濁を招く直接的な原因となりました。工場の排水も問題ではありましたが、この時期のロンドンにおける最大の汚染要因は未処理の生活排水でした。
問10	答え 1 ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。	イスラム教の成立は7世紀であり、この時期の東アジアでは中国で唐（618年～）が成立し、日本では大化の改新（645年）が行われるなど、中央集権的な国家体制の構築が進んでいました。卑弥呼は3世紀、武家政権の誕生は12世紀、聖武天皇の治世は8世紀の出来事であるため、これらはイスラム教の成立時期とは一致しません。
問11	答え 2 1 甲骨文字	中国最古の王朝とされる殷では、政治の重要な事柄を決定する際に神の意志を問う占いが行われていました。その占いの結果を亀の甲羅（甲）や動物の骨（骨）に刻んで記録したものが、現在の漢字のもとになった甲骨文字です。この文字が発見された都の跡は「殷墟（いんきょ）」と呼ばれ、当時の高度な文明を伝えています。
問12	答え 1 2 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。